

同行動物登録 受付

まずは、一緒に連れてきた**ペットの受付**をします。
こちらで受付を済ませたら、「動物避難所」にペット
を連れて行き、ペットを置いてきます。
そのあと**避難者受付**に行き、**ご自身の受付**をして
ください。(ペットとは生活場所が離れます)

ペットと一緒に避難した方は
こちらの門からは
入れません

_____からお入りください

ペットと一緒に避難した方は
最初に「同行動物登録受付」へ来てください

救援センターの「同行動物登録受付」は

にあります

ペットを連れたままお越しください

同行動物登録 受付

まずは、一緒に連れてきたペットの受付をします。
こちらで受付を済ませたら、「動物避難所」にペットを連れて
行き、ペットを置いてきます。
そのあと1階に行き、ご自身の避難者受付をしてください。
(ペットとは生活場所が離れます)

動物避難所

このエリアは、避難者が同行した
ペットが避難している場所です。

※飼主・関係者以外

立入禁止



犬の飼育場所

飼い主さんへ

- ・犬は必ずケージやキャリーに入れて飼育しましょう。
- ・糞尿の片づけは迅速に！
(小袋に入れてから大ごみ袋へ)
- ・餌やり、水補給、散歩などのお世話を忘れずに。

ケージがない場合

- ・備蓄のケージを組み立てて使用しましょう(中型犬用2台)
- ・小型犬は空き段ボールに入れて逃げないように飼育しましょう。



ケージに入れない
(大きくて入らない、嫌がる等)場合は、
「**屋外動物避難所**」へ連れて行きます。



猫・鳥の飼育場所

飼い主さんへ

- ・猫は必ずケージやキャリーに入れて飼育しましょう。
- ・糞尿の片づけは迅速に！
(小袋に入れてから大ごみ袋へ)
- ・餌やり、水補給などのお世話を忘れずに。

ケージがない場合

空き段ボール等に入れて、逃げないように飼育しましょう。



鳥は鳥かごに入れて猫と離し、机等の上に置きましょう。
餌やり、水補給、鳥かご内の清掃を忘れずに！



盲導犬等

動物同居部屋

この部屋は、動物と人が同居します。

- ・盲導犬 ・聴導犬 ・介助犬
- ・その他同居の必要がある動物

※関係者以外

立入禁止



屋外動物避難所

このエリアは、避難者が同行した
ペットが避難している場所です。

※飼い主・関係者以外

立入禁止



○ ペット同行避難 受け入れできる動物一覧

	種類	備考
哺乳類	犬	・ケージは各救援センターに2台しか配備していません。(中型犬サイズ) ・小型動物でケージが無い場合、救援物資が入っていた空き段ボール等に入れてください。
	猫	
	うさぎ	
	チンチラ	
	ハムスター	
	フェレット	
	モモンガ(タイリクモモンガは不可)	
	モルモット	
	マイクロプタ(ケージに入るサイズ)	
鳥類	アヒル	・犬や猫を怖がって暴れないよう、離れた場所に仕切りをつけて保護してあげてください。
	イエバト	
	インコ	
	オウム	
	カナリア	
	キュウカンチョウ	
	コキンチョウ	
	ジュウシマツ	
	ニワトリ	
	フクロウ	
	ブンチョウ	
	ミミズク	
	ヨウム	



- ・ケージに入る小型の動物であること(大型犬は屋外に係留となります)
- ・明らかに感染症に罹患している動物は受け入れできません(飼い主が動物病院へ)
- ・飼い主が管理できる頭数まで受け入れできます(常識の範囲内)
 ※例えば中型犬5匹を連れて動物避難所を占領されては他の飼い主に迷惑となります。
- ・地域猫(耳カット済みで餌やりなど管理している)は野良猫のため、同行避難できません。

× ペット同行避難 受け入れできない動物一覧

種	種類	特定	特外	備考
哺乳類	ハリネズミ(全種)		○	・特定動物等ではない野生動物(タヌキやモグラなど)も本来飼養してはいけないので同行避難できません。 ・特定外来生物ではないヨツユビハリネズミも見分けが難しいため受け入れできません。 ・左記に具体名を記載しきれない動物もいます。 受け入れできる動物一覧にある哺乳類以外は原則、同行できません。
	タイワンリス・トウブハイロリス・キタリス		○	
	タイリクモモンガ		○	
	アライグマ・カニクイアライグマ		○	
	アメリカミンク		○	
	マングース		○	
	シカ属全種		○	
	キョン		○	
	サル	○	○	
	ジャッカル等イヌ科の危険な動物	○		
	チーター等ネコ科の危険な動物	○		
	※動物園にいる大型哺乳類は全て×	○	○	
	カワウソ(毎日の水浴びが不可能)			
鳥類	たか	○		・特定動物等ではない野鳥(カラス・スズメ・ドバトなど)も本来飼養してはいけないので同行避難できません。 ・左記に具体名を記載しきれない動物もいます。 受け入れできる動物一覧にある鳥類以外は原則、同行できません。
	わし	○		
	コンドル	○		
	カナダガン		○	
	シリアカヒヨドリ		○	
	ガビチョウ5種		○	
	ソウシチョウ		○	
※動物園にいる大型鳥類は全て×	○	○		
爬虫類	全種			・温度管理等飼養が難しい ・特定動物等かどうかの判断が難しい
	カメ・トカゲ・ヘビ・イグアナ・カメレオン・ワニ 等			
両生類	全種			・温度管理等飼養が難しい ・特定外来生物かどうかの判断が難しい
水棲動物	全種			・水と電気を使用し飼養困難 ・特定外来生物かどうかの判断が難しい
	魚類全種(金魚・ナマズ・ブルーギル 等) エビ・カニ・貝類			
昆虫等	全種			・温度管理等飼養が難しい ・特定外来生物かどうかの判断が難しい
	クワガタ・ハチ・クモ・サソリ 等			

特定動物とは
 人の生命・身体・財産に侵害を与える恐れのある動物のこと(約650種)
 都道府県知事への飼養許可制から、令和元年の法改正で飼養や保管は原則禁止となった。
※動物の愛護及び管理に関する法律

特定外来生物
 日本の生態系、人の生命・身体又は農林水産業被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがある外来生物。

同行避難できるペットの避難場所(以下へ連れて行ってください)

a ケージやカゴに入っているペット

____階の_____へ連れて行ってください

b 盲導犬等、同居が必要なペットと飼い主

____階の_____へ連れて行ってください

c ケージやカゴに入っていないペット

_____の_____へ連れて行ってください

動物救護チーム 本日の当番 _____年 月 日

割当時間	①受付 ②名簿管理 ※ミッションカード8-1～8-3参照		③動物避難所・動物同居部屋 見回り ④放浪動物のお世話	③屋外動物避難所見回り ④放浪動物のお世話	⑤区・獣医師会・ボランティアとの調整 苦情受付
	当番 氏名	当番 氏名	当番 氏名	当番 氏名	当番 氏名
時～ 時					
時～ 時					
時～ 時					
時～ 時					
時～ 時					

深夜や早朝は救援センター管理者と相談しましょう。

- ③④のお仕事
- ・部外者が入り込んでいないか確認します。(「飼い主さんですか?」と声掛けし、違うようなら退出を促します)
 - ・お世話(餌やり、掃除など)がされていないペットがいたら、飼い主に声掛けします(名簿を確認しましょう)。
 - ・飼い主が不在だったり、不明の動物がいたら、糞尿の清掃や餌やりをしてあげましょう(備蓄から使用します)。
 - ・お世話で出たごみ袋をまとめて、救援センターのごみ排出場所へ持ち込みます。
 - ・新しく避難してくるペットを空いている場所へ誘導します。
 - ・その他、動物避難所で必要な事を他のチームメンバーと相談して対応しましょう。

- ⑤のお仕事
- ・獣医師の巡回が来たら飼い主さんに声掛けし、診てほしいペットがいないか確認します。
 - ・動物ボランティアの支援物資が届いたら、動物避難所へ持ち込む等対応します。
 - ・苦情を受けたらチームで解決方法を相談し、対応します。対応困難な場合、救援センター運営管理者へ相談します。